



総料理長 徳重慎一郎が

権威ある協会「フランス料理アカデミー日本支部」の会員に認定のご紹介

2019年10月25日(金)

SHIROYAMA HOTEL kagoshima(鹿児島市・城山観光株式会社/代表取締役社長:東 清三郎)の総料理長・徳重が「フランス料理アカデミー日本支部」の会員に認定され、10月25日(金)に東京で行われた2019年度新会員へのディプロム(資格)授与式に参列いたしました。



フランス料理アカデミーは、1883年に料理辞典の著者ジョゼフ・ファーヴルによって設立された、シェフとパティシエの権威ある協会です。会員は全世界で総勢900名前後。うち210名(2019年新会員を含め)を日本支部が擁し、日本におけるフランス料理の発展に努めてきた錚々たるメンバーが揃っています。

2019年に新たに会員に認定されたのは14名。徳重は、2013年から度々主要料理コンクール日本大会のファイナルリストとなり、日本におけるフランス料理の普及・発展に尽力していることが認められ、既会員に推薦されフランス本部の厳しい審査を経て会員に認定されました。「憧れのシェフたちと同じ協会の会員になって夢のように感じています。それとともに、この資格に見合う仕事をしていきたいと強い使命感も抱きました。授与式でいただいたバッジには16本のピンがあります。これは厨房におけるセクションを示していると知りました。16のセクションそれぞれが責任を果たし一丸となって、迅速に美味しいコースをつくり上げる。ホテルに置き替えると、和食、洋食、中国料理の厨房がそれぞれの力を発揮し、垣根を越えて支え合って、お客様をもてなしていきたいと思えます」と抱負を語りました。

徳重慎一郎 プロフィール

鹿児島県出身。関西のホテルで修業を積み2001年SHIROYAMA HOTEL kagoshima入社。フランス料理 ル シエル(旧名称 トップグリル スカイラウンジ)料理長を経て、2014年5月ホテル宴会洋食料理長、2018年6月よりホテル総料理長に就任、現在に至る。ポキューズドール国際料理コンクール日本代表選考において2015年・2016年決勝進出、2017年準決勝進出を果たしている。

■本リリースに関するお問い合わせ先

SHIROYAMA HOTEL kagoshima 〒890-8586 鹿児島市新照院町 41-1

企画広報 岩本惇美 TEL: 099-224-2212 FAX: 099-224-6686

E-mail: iwamoto@shiroyama-g.co.jp